令和７年７月１日
環　　境　　局
公益財団法人東京都環境公社

ＢＩＭを活用した省エネ建築設計・実装支援事業（助成金）申請受付開始のお知らせ

都は公益財団法人東京都環境公社と連携し、三次元設計モデル（以下「ＢＩＭ」という。）を活用した新築建築物の省エネ設計手法の普及を目的とする「ＢＩＭを活用した省エネ建築設計・実装支援事業」を実施しています。

令和７年度から、都内の新築建築物（戸建て住宅を除く。）の設計業務において、設計の初期段階からＢＩＭデータを用いて環境性能を解析しながら省エネ設計を行う取組を対象に、必要な経費の一部を助成する事業を行います。

この度、助成金の申請受付を開始しますのでお知らせします。

ＢＩＭを活用した省エネ建築設計・実装支援事業（助成金）

（１） 助成内容等

助成対象者	都内の新築建築物（戸建て住宅を除く。）の設計業務において、ＢＩＭを活用している又は活用する予定である意匠設計者、構造設計者、設備設計者等の関係者によって構成されるグループ（グループの代表事業者は建築士事務所登録を行っている者に限る。）
主な助成条件	・東京都建築物環境配慮指針（令和５年東京都告示第 639 号）別表第１の「建築物の熱負荷の低減」及び「省エネルギーシステム」の項に掲げる評価基準の段階により評価を行い、段階３の評価を目指すため、次のいずれかの取組を行うこと。 ① 敷地の気象条件や周辺環境を踏まえ、建築物の室内外環境（日射量解析、昼光解析、照明解析、温湿度解析、自然風解析、気流・換気解析、その他の解析）について、設計期間中に３項目以上、それぞれ複数回解析を行い、設計に反映することにより建物の環境性能の向上を図る。 ② 設計の初期段階から、簡易な建築モデルを用いる等により、建物全体の熱負荷と省エネルギー性能の解析を繰り返しながら、その結果を設計に反映することにより建物の環境性能の向上を図る。
助成対象経費	・ソフトウェア利用費（ＢＩＭデータを用いて設計する新築建築物の省エネ性能の解析を行うためのソフトウェア（以下「環境解析ツール」という。）の導入又は利用に要する経費。） ※ＢＩＭデータ（ＢＩＭモデル）作成費は対象外（（６）その他を参照してください。） ・専門家指導費（ＢＩＭ管理技士等から環境解析ツールの操作方法の指導を受ける際に要する経費。） ・研修会受講費（環境解析ツールの操作等に係る研修等の受講に要する経費）
助成上限額と助成率	○助成上限額：450 万円 ○助成率： ①段階３の評価を取得した場合は助成対象経費の３分の２ ②段階１又は段階２の評価を取得した場合は助成対象経費の３分の１

（２）助成金の受付期間

・令和７年７月１日（火曜日）から令和９年３月 31 日（水曜日）まで

（３）予算規模　２，２５０万円

（４）申請受付　公益財団法人東京都環境公社

東京都地球温暖化防止活動推進センター（愛称：クール・ネット東京）

〒163-0817　東京都新宿区西新宿二丁目４番１号　新宿 NS ビル 17 階

電話　03-6258-5313（9 時 00 分～12 時 00 分、13 時 00 分～17 時 00 分

（土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始は除く。）

※詳細は（５）事業ホームページをご参照ください。

（５）事業ホームページ

クール・ネット東京　ＢＩＭを活用した省エネ建築設計・実装支援事業

URL：https://www.tokyo-co2down.jp/subsidy/bim-syoene

（６）その他

・国及び他の地方公共団体等が行う本事業と事業目的及び対象を同一とする助成金等との併給は不可

※ＢＩＭデータ（ＢＩＭモデル）作成費について

・本事業では助成対象外です。

・国の「BIM 加速化事業」及び「建築 GX・DX 推進事業（BIM 活用型）」を併給することは可能です。

本件は、「2050 東京戦略」を推進する取組です。
戦略 20　ゼロエミッション
https://www.seisakukikaku.metro.tokyo.lg.jp/basic-plan/2050-tokyo/

▲2050 東京戦略

【問合せ先】

＜事業全般について＞
東京都環境局気候変動対策部
環境都市づくり課
電話 03-5320-7937

＜申請受付について＞
（公財）東京都環境公社
東京都地球温暖化防止活動推進センター
（クール・ネット東京）
電話　03-6258-5313